

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

主管課 総務課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会の到来 ・少子化による児童・生徒数の減少 ・地域社会の連帯意識の喪失 ・家庭教育の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの個性を尊重し、自ら学び考える力 や豊かな人間性など、「生きる力」の醸成。

施策の目的

子ども一人ひとりの個性をとらえ、知育、徳育、体育の教育的営みの中で、「個々に応じた教育」を実践することによって、社会に貢献できる人材を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基礎・基本の学力を確実に身につけ、自分で課題を見つけ自ら学び自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する能力や豊かな人間性、健康と体力等の「生きる力」を育成する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	64.9	68.2			↗

施策の達成状況 (21年度)

特色ある学校づくり、きめ細かな指導方法の実施、キャリア教育の推進など教育内容の充実と共に、学校施設整備を含めた教育環境の充実を継続実施するなど各基本事業を一体で行う中で相乗効果ができていると考えます。また、今後も施策達成に向け事業を推進します。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	2,163,830	2,189,954	2,008,751
事業費(千円)	1,477,962	1,530,582	1,347,419
人件費(千円)	685,868	659,372	661,332

01 教育内容の充実

基本事業の目的

特色ある教育メニューをつくり教育内容の充実を図ることで、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が受けられるようにします。また、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援が受けられるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

きめ細かで、時代に即した教育の促進を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
教科の勉強が好きと答えた児童・生徒の割合	%	68.0	75.4			↗
学校の授業が分かると答えた児童・生徒の割合	%	95.3	85.8			→
不登校児童・生徒数	人	89	93			75

基本事業の達成状況 (21年度)

T・T指導や少人数指導などの取り組みを継続して進めてきた。小学校英語も外国人講師の4人体制により、より充実した指導を行った。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	378,413	270,373
事業費(千円)		337,748	229,559
人件費(千円)		40,665	40,814

02 開かれた学校づくり

基本事業の目的

学校、家庭、地域が連携して開かれた学校づくりを進めることにより、子ども達を健康的に育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、地域

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

学校、家庭、地域が連携し子ども達を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合	%	67.0	67.3			↗
学校が地域交流の場として、活用されていると思う市民の割合	%	53.4	54.0			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

学校一斉公開のほか各学校のホームページによる学校の紹介を行っているほか、次年度入学予定者の保護者に小中学校案内を送付するなど学校の教育目標の周知に努めている。
また、地域住民が協力し、児童生徒の登下校の安全確保に努めるなど、学校と地域が連携した活動を行っている。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	5,149	5,382
事業費(千円)		3,074	3,300
人件費(千円)		2,075	2,082

03 健康と食育の充実

基本事業の目的

正しい生活習慣を身につけ、食の大切さを理解しスポーツに親しむことによって、心身ともに健康な身体を育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康な体を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	81.9	85.7			↗
学校給食の残食率	%	18.8	19.7			18.0
スポーツに親しんでいる児童・生徒の割合	%	64.5	60.2			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

二つの指標は、増加傾向にあり、今後も小学校に配置されている栄養教諭の児童・生徒に対する「食に関する指導」の一層の充実に努め、食の大切さなどを伝えるとともに、食を通じて基本事業のねらいである健康に関する教育の充実に努めていきたい。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	466,972	463,908
事業費(千円)		272,715	268,949
人件費(千円)		194,257	194,959

04 教育環境の充実

基本事業の目的

学校の適正規模化を推進し、さらに学校施設の整備を図るなど教育環境を充実させることで、子ども達にとって安全で快適な「学び舎」にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

学校施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

快適で安心して学習のできる学校施設が整っている。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
適正規模(12クラス~18クラス)の学校の割合	%	44.8	37.9			50.0
学校施設維持管理上の不具合のうち授業に支障が発生した件数	件	0	0			0

基本事業の達成状況 (21年度)

引き続き優先度、緊急性など考慮の上計画的に、校舎・屋内体育館・屋外施設などの整備を行ったことにより学校環境の充実に寄与していると考えます。今後も事務事業の総合的取り組み、成果を向上を目指し、施策の意図達成に努めます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	1,055,579	967,050
事業費(千円)		680,508	591,042
人件費(千円)		375,071	376,008